

平成18年4月14日

石巻市長  
土井喜美夫様

# 提 案 書

雄勝地域まちづくり委員会

## 1 教育・文化について

児童生徒数の減少、それに伴う複式学級による授業、高校通学の問題等、旧雄勝町の頃より子ども達の教育環境には大きな問題がありました。これらの懸案事項を解決することが雄勝地区民の願いでした。新石巻市になったことにより、いままで以上に問題解決がなされるものと期待するものです。特に雄勝小学校の新築や、高校進学時の通学の問題解決が優先課題であると提案し、課題解決を強くお願いするものです。

## 2 健康・福祉について

現在、雄勝地区には幼稚園が無く、又、子育て援センターもありません。少子高齢化の中で幼児教育の支援が大きな問題となっております。津波被害のない場所に幼保一体型の保育所の新築、及び子育て支援センターの設置を提案いたします。

健康づくりについては当地区は高齢者が多く、車を運転できない一人暮らし世帯も多いのが現状です。旧雄勝町の時はこのような方々が受診できるよう各種検診が各地区で実施されたり、又は受診会場までの送迎バスを巡回させておりました。新石巻市となりこのようなサービスが低下することがないようお願いするものです。

高齢者福祉については当地区は高齢化が進むとともに独居老人が増えていきます。当地区には雄勝デイサービスセンターがありますが、その利用者は年々増加しており、利用希望者の要望に十分応えられなくなっております。今後も利用希望は増大するものと予想されます。デイサービスセンターの施設の増築等による受入定員の増や各地区の老人憩の家等を利用したデイサービスの開始等をお願いするものです。又、高齢者が増えることを予想し、各地区内の民生児童委員等のさらなる活動強化やボランティアの育成・推進をお願いするものです。

### 3 産業・雇用について

本地区には国の伝統的工芸品の指定を受けている雄勝硯があり、その硯の後継者育成及びPRセンターとして雄勝硯伝統産業会館が建設されました。しかし、現在は、中国からの安価な硯の輸入品等に押され硯産業が崩壊の危機にあります。

伝統工芸品としての雄勝硯を後世に伝えるためにも、常駐の学芸員を配し、後継者育成、硯・スレート等の石工芸品の開発、PRを強力に押し進めいただきたい。さらに今後も雄勝硯として後世に引き継ぐことを考え、石巻市が硯山を購入する等して資源の確保をお願いしたい。これまで以上に硯の伝統的価値を高め、広めるためにも伝統産業会館の入場料無料化やイベントの開催等伝統的工芸品である硯を新石巻市の財産として、又、観光資源としてその強化をお願いしたい。

### 4 生活環境について

近い将来起きるであろう宮城県沖地震に備えた災害に強いまちづくりとして、夜間に地震等で停電となった際の避難経路から避難場所までのソーラー式防犯灯の設置、高齢者や弱者等の自主防災対策としての防災マップの作成や地域の協力体制の整備等、さらに防波堤を高くする等の海岸保全事業を早急をお願いしたい。

### 5 市民活動・人材について

新石巻市となり総合支所の職員数も減り地区民の声が行政に届かないのではないかと心配されます。こうした中、地域住民と行政の橋渡しの存在である地区のコミュニティの活性化こそが大切であります。新石巻市として地区コミュニティを担う人材の育成、地区コミュニティへの各種助成の充実を強く要望するものです。

1 提案の課題

雄勝小学校は体力度調査の結果、危険校舎となっております。又、プールは学校から離れた場所にあり、国道を歩いて横断しなくてはならない危険な場所に設置されています。

2 提案の理由・背景

(要望する理由)

現在の雄勝小学校は昭和41年に建築された校舎であり、体力度調査でも危険校舎と診断されました。耐震診断は受けておりませんが、今後起きると予想される宮城県沖地震による校舎の倒壊等が懸念されます。又、プールも離れた場所にあり児童の安全を確保するためにも早急に教育環境の整備をお願いしたい。

3 提案内容

耐震性にすぐれた新たな校舎と、同一敷地内にプールの建築をお願いしたい。

4 考えられる効果

老朽化した校舎等の新築により児童の安全を確保することができる。

5 国・県との関連

(要望の必要性の有無)

体力度調査で危険校舎として診断された校舎であるので、早急に国庫補助事業として事業認定をお願いしたい。

6 緊急性 (該当する箇所に○)

短期 (1年から3年)・中期 (4年から7年)・長期 (8年から10年)

その他 ( )

7 具体的な方策

現在の雄勝小学校が設置されている場所に耐震性にすぐれた校舎等を新築する。

## 1 提案の課題

雄勝地区には幼稚園がなく幼児教育の場を確保する必要があります。又、幼稚園の廃園により雄勝保育所への入所者が増え手狭な状態であります。さらに雄勝保育所は老朽化しており、現在の場所は今後起きるであろう宮城県沖地震の津波の被害を受ける場所にあります。

## 2 提案の理由・背景

(要望する理由)

雄勝地区には町立、私立の2つの幼稚園がありました。園児数の減等により昭和63年3月に町立雄勝幼稚園が、平成15年3月に私立わかば幼稚園が廃園となりました。又、雄勝保育所は昭和46年4月に開所し入所者の増等により建増し等行って現在に至っておりますが、建築後34年を経過した老朽化した施設となっております。さらに現在雄勝保育所が建設されている場所は雄勝湾の奥まった場所であり、津波が発生すれば被害を受ける場所であり園児の安全を確保できない場所です。

## 3 提案内容

子育て支援センターを併設した幼保一体化施設として雄勝保育所を現在の場所から移転し新築する。

## 4 考えられる効果

これまで雄勝地区になかった子育て支援センターを設置することにより育児支援が可能となり、さらに入所希望者が入れる規模の保育所を設置することにより少子化対策を推進することができます。建築場所を津波等の被害を受けない場所に建設することにより入所児の安全を確保することができる。

## 5 国・県との関連

(要望の必要性の有無)

保育所建築は宮城県内で年間 2～3 箇所となっており、現在は順番待ちのような状態です。雄勝保育所は築後 34 年を経過し老朽化が著しいことと、雄勝地区内には少子化対策の子育支援センターが未設置であること。さらに今後起きるであろう宮城県沖地震による津波被害を避けるためにも早期な建築を要望するものです。

## 6 緊急性 (該当する箇所に○)

短期 (1年から3年)・中期 (4年から7年)・長期 (8年から10年)

その他 ( )

## 7 具体的な方策

雄勝保育所建設場所を市有地又は新規購入等して確保し、国県補助事業として早期に建設する。

1 提案の課題

統廃合になった旧小学校校舎が取壊されずにある。校舎の老朽化が著しく、又火災等も心配されるので早急に取り壊しをお願いしたい。

2 提案の理由・背景

(要望する理由)

廃校となった旧水浜小学校、旧大須小学校、旧桑浜小学校の校舎があり、施設は老朽化しております。旧水浜小学校では壁面のモルタルノ崩壊、旧桑浜小学校では屋根のスレートが落ちてくる等大変危険な状況です。市でこの校舎の利用計画がないのであれば早急に取り壊しをお願いしたい。

3 提案内容

旧水浜小学校、旧大須小学校、旧桑浜小学校の校舎等の取壊し。

4 考えられる効果

旧水浜小学校、旧大須小学校、旧桑浜小学校の校舎を取壊すことにより、校庭で遊ぶ子ども達の安全確保と、不審者の侵入等を防ぐことができます。

5 国・県との関連

(要望の必要性の有無)

6 緊急性 (該当する箇所に○)

短期 (1年から3年)・中期 (4年から7年)・長期 (8年から10年)

その他 ( )

7 具体的な方策

市の防災計画等に盛り込んでもらい、早急な整備をお願いする。

1 提案の課題

熊沢漁港には漁船を係留させる場所がない。

2 提案の理由・背景

(要望する理由)

現在、熊沢には漁船を係留させる場所がないため、出漁及び帰漁のたびに船を陸に引き揚げるため数名の人力が必要です。漁に出たくとも人力を確保出来ない時は出漁できない状況です。地区民の高齢化により人力を確保できなくなっている現状と、後継者育成のためにも早急に係留施設の建設をお願いします。

3 提案内容

熊沢漁港に防波堤を新設し、内湾をつくり係留場所を確保する。

4 考えられる効果

いつでも漁に出られる体制をつくることにより、漁獲高を上げることができる。さらに漁業の振興を図ることにより、後継者育成ができ地区内住民の増及び地域の活性化が図られる。

5 国・県との関連

(要望の必要性の有無)

国県補助事業として事業認定をお願いしたい。

6 緊急性 (該当する箇所に○)

短期 (1年から3年)・中期 (4年から7年)・長期 (8年から10年)

その他 ( )

7 具体的な方策

国県に事業の申請をし、事業認定をしてもらう。



1 提案の課題

船越漁港が狭くなってきたので、平成3年に埋立増設した場所を漁港として使用できるようにして欲しい。

2 提案の理由・背景

(要望する理由)

船越漁港は漁船の増等により係留施設が満杯の状況です。荷揚場も1ヶ所しかなく作業効率も悪い現況です。新たに防波堤を整備することにより係留施設と荷揚場を確保することができ、さらに台風の時など近隣の大須地区や三区地区の漁船の避難港として活用できます。

3 提案内容

船越漁港の埋立地に新たに防波堤を新設し、漁港を拡幅し係留施設を新たに新設する。

4 考えられる効果

防波堤を新設することにより漁船の係留施設と荷揚場ができ、作業効率が大幅にアップし鮮度確保及び漁獲高の増が見込まれます。さらに台風時にはこれまで遠い雄勝湾に避難していた大須地区、三区地区の漁船が船越漁港に避難することができます。

5 国・県との関連

(要望の必要性の有無)

国県補助事業として事業認定をお願いしたい。又第2種漁港への格上げをお願いしたい。

6 緊急性 (該当する箇所に○)

短期 (1年から3年)・中期 (4年から7年)・長期 (8年から10年)

その他 ( )

7 具体的な方策

国県に事業の申請をし、事業認定をしてもらう。

1 提案の課題

雄勝地区内の道路の整備

2 提案の理由・背景

(要望する理由)

国道の船戸～唐桑間、県道の名振～船越～荒～大須～三区～立浜間の道路が狭いうえにカーブが多く、バス等の大型車両がすれちがい出来ない道路です。

雄勝地区民の生活道路であり産業・観光の振興のためにも早急に整備をお願いしたい。

3 提案内容

現在も雄勝地区内の国道、県道の整備を順次進めている現状であることは認識しておりますが、これまで以上に国・県に積極的に働きかけ早期整備をお願いしたい。

4 考えられる効果

本地区は半島部であり地区内を周遊する道路となっております。生活圏は旧石巻市であり、高校通学や医療機関等までの時間短縮が雄勝地区民の要望でした。これまでも不便であるために人口が流出しており、現在もその傾向が続いております。人口の減は地区内コミュニティの崩壊にもつながるものでもあり、地区内道路の整備が進むことにより定住促進が図られます。又、近隣に原子力発電所があり、災害時の避難道としても大きな効果が期待できます。

5 国・県との関連

(要望の必要性の有無)

国・県に対しこれまで以上の整備をお願いする。

6 緊急性（該当する箇所に○）

短期（1年から3年）・中期（4年から7年）・長期（8年から10年）

その他（ ）

7 具体的な方策

これまでも雄勝町国道期成同盟会として陳情しているが、石巻市としてもこれまで以上に国・県への早期実現を要望して欲しい。

1 提案の課題

真野雄勝線の道路整備

2 提案の理由・背景

(要望する理由)

現在旧石巻市までの直通道路として釜谷トンネルがあります。雄勝地区内の幹線道路はこの国道398号線のみです。災害等によりこの道路が寸断される事態が起きた場合には本地区は陸の孤島となってしまいます。避難道及び旧石巻市内までの時間短縮のためにも真野雄勝線の整備をお願いしたい。

3 提案内容

避難道及び旧石巻市内までの時間短縮のためにも真野雄勝線の整備をお願いしたい。

4 考えられる効果

本地区は半島部であり、他地区へ行く幹線道路は国道398号線のみとなっております。生活圏は旧石巻市であり、高校通学や医療機関等までの時間短縮が雄勝地区民の要望でした。これまでも不便であるために人口が流出しており、現在もその傾向が続いております。人口の減は地区内コミュニティの崩壊にもつながるものでもあり、旧石巻市内までの道路整備が進み時間短縮がされることにより定住促進が図られます。又、近隣に原子力発電所があり、災害時の避難道としても大きな効果が期待できます。

5 国・県との関連

(要望の必要性の有無)

県に対しこれまで以上の整備をお願いする。

6 緊急性（該当する箇所に○）

短期（1年から3年）・中期（4年から7年）・長期（8年から10年）

その他（            ）

7 具体的な方策

これまでも雄勝町国道期成同盟会として陳情しているが、石巻市としてもこれまで以上に県への早期実現を要望して欲しい。

## 1 提案の課題

平成18年度より雄勝地区の公共下水道が一部供用開始となるが、それ以外の地区にも下水道整備をして欲しい。

## 2 提案の理由・背景

(要望する理由)

平成18年度より旧雄勝町の雄勝地区において一部公共下水道が供用開始となります。住みよい生活環境の整備とともに、雄勝地区の産業の基盤である水産業（養殖業等）を守るためにも、雄勝地区全域に下水道整備を早急をお願いしたい。

## 3 提案内容

現在公共下水道整備を実施している地区以外への早急な下水道整備を実施する。小集落地区には集落下水処理事業の実施及び浄化槽市町村整備推進事業、又は個人の合併浄化槽設置に対する補助を充実（現在実施している浄化槽設置整備事業補助金以外の市単独補助金の上乗せ等）させることにより、さらなる普及率の向上を図る。

## 4 考えられる効果

下水道、浄化槽等を設置することにより住みよい生活環境を整備することができます。さらに家庭雑排水を浄化することにより、雄勝地区の基幹産業である水産業の源である海を守り、古里の風景を守り、水産業の振興を図ることができます。

5 国・県との関連

(要望の必要性の有無)

国・県に対しこれまで以上の整備をお願いする。

県に対し浄化槽設置補助金の増額をお願いしたい。

6 緊急性 (該当する箇所に○)

短期 (1年から3年)・中期 (4年から7年)・長期 (8年から10年)

その他 ( )

7 具体的な方策

現在事業実施している雄勝地区以外への早急な整備計画の策定及び実施方法の決定。

1 提案の課題

近い将来起きるであろう宮城県沖地震による津波被害に備えるため、船越地区、名振地区、荒地区、桑浜地区、分浜地区の海岸保全事業を実施して欲しい。又、河川のある箇所へは水門設置をお願いしたい。

2 提案の理由・背景

(要望する理由)

船越地区は狭隘な場所に住宅が密集しており、河川はその住宅の間にあり、床板し道路として使用しています。その河川は海へと通じております。津波がくるとその河口から逆流し、住宅地に甚大な被害をもたらすものと予想されます。地区住民の安全確保のためにも水門の設置をお願いします。

3 提案内容

船越の河川の出口（海）に津波の時に開閉できる水門の設置をお願いします。

4 考えられる効果

船越地区の住宅密集地の前はすぐ海となっております。津波等を防ぐため防波堤が設置されていますが、河川の出口が海にあり、津波の時には防波堤を閉めても河川から逆流してきます。河川に水門を設置することにより地区住民が安心・安全に生活することができます。

5 国・県との関連

(要望の必要性の有無)

防災上の補助等があれば要望したい。



6 緊急性（該当する箇所に○）

短期（1年から3年）・中期（4年から7年）・長期（8年から10年）

その他（ ）

7 具体的な方策

市の防災計画等に盛り込んでもらい、早急な整備をお願いする。